北九州市立交通安全センター指定管理者選定に関する提案概要

審査項目		特定非営利活動法人 I -DO
 指定管理者 としての適性 について 		○親子を対象とした交通ルールやマナーの普及を推進し、次世代の安全意識の向上を目指す。 ○高齢社会に対応した免許返納支援の機会提供や、電動キックボードなど新しい乗り物に対する安全講習を実施する。 ○自転車安全教育指導員等有資格者が12名在籍しており、 交通安全教育の安定的な実施が可能である。
2 管理運営計画の適確性	【有効性】 に関する 取組み	○幼稚園や小学校等に指導員が出向き、講和や実地練習を通じた交通安全教育に注力する。 ○免許返納の取り組みとして高齢者運転シミュレーターを活用する。 ○ご意見箱の設置や定期的なアンケート実施を行う。 ○交通公園便りやウェブサイト、公式 SNS を活用し、定期的なイベントや雨天時の利用停止等について、密な情報発信を行う。
	【効率性】 に関する 取組み	○光熱費の削減に努める。 ○今後の人件費の高騰等を考慮し、予想される不足分を補填する策として自販機の設置を提案する。利用者のサービス向上に貢献するような自販機があれば、積極的に導入する。提案額 ○和 7年 30,542千円 令和 8年 30,542千円 令和 9年 30,542千円 令和10年 30,542千円
	【適正性】 に関する 取組み	○園長以下13名体制で管理運営を行い、隔月に行う「社員研修会」により、職員の資質・能力の向上に努める。 ○施設利用について、子ども以外の利用者(大人や障害者等)にも平等にサポートする体制を整えている。 ○利用者が多い土・日・祝日には、要所に指導員を配置し事故防止・熱中症対策に努める。 ○運転免許の自主返納促進のため、市民センター等の協力を仰ぎ運転シミュレーターを使った啓発活動を実施する。